

龍源寺報

平成30年 孟蘭盆号

臨濟宗・妙心寺派	住職	松原信樹
佛母寺住職	松原覺樹	
正福寺住職	松原行樹	
TEL	3451-1853	
FAX	3451-6094	

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23 (郵便番号 108-0073)

Email: info@ryugenji.com URL: http://www.ryugenji.com

お盆を迎えて

龍源寺住職 松原信樹

私達が歩む人生は、引き返すことのできない歩みである。その原点とは、ほかでもない今ここを生きている私自身にある。分からないことがたくさんある中で、毎日を精一杯生きる努力と、その有意義性の樹立に向けた可能性の中でのみ、過去・現在・未来という時間が初めて意味を持つ。

ここで、過去ということ考えた時、過去は過ぎ去ったことで関係の無い事だという人もいるだろうが、過ぎ去っていくものは過ぎ去りながらも、何かに引き留められる。例えばモーツァルトやバッハに聴き入るときでも、消え去る音の調べを過ぎ去るままに聞き流しながらも、それが過ぎ去らぬように心で引き留め、それを保持しながら、すぐその後響いてくる新しい音の調べをたえず自分の中に受け入れながら聴く。過去が単に、過ぎ去っていくだけのものがあるならば、もはや一曲の音楽を聴くという体験そのものが成り立たない。過去は決して単純に過ぎ去らない。むしろ、それは、現在の自分

の中の奥深い基盤となつて働き続けていくのではないだろうか。言い換えれば、過去に於ける経験は、消滅せず、自分の中に生き生きと働き続け、それを取り返しながらか私達は、あるべき将来の自分を見据えつつ真の自己を作りあげようと努力する。つまり、過去の経験は、現在の自分を造り上げる基礎となっている。

亡き人についても、亡き人の姿は見え、話すこともできないけれども、亡くなった家族や親しかった知人など、私の心の中で深く残っているし、もしかしたら、生きていた時より深く関わっている感じもする。だから、私達は自分の心の奥底に経験した大切なものを深く、じつと抱きしめ、それを追憶してやまず、甘美さと苦しみの尽きることはない追憶の世界にこそあるごとに入り込む。追憶ほど、美しく、切なく、筆舌に尽くしがたいものはない。私達が日頃、互いに語り合い、互いの理解に努め支え合う時、そこにあるものは、神や仏に似た裏切るのではない追憶の精神にあるといつても過言ではないだろう。

新盆を迎えるお檀家さまもいらっしやると思います。どうか亡き人との追憶の中で、響き合うお参りをお願いしたいと思います。

寄附

本堂改良工事 エレベーター増設

金五万円也 築家・橋上孝道殿

金一万円也 池谷倫代殿

観音さまに

金三万円也 野島博子殿

金一万円也 中澤周一殿

ありがとうございました

＊将来は、本堂の裏地を整理して、
大般若経を納める経蔵を建立する
計画をしております。

ウラボン法要

一、七月十日（火曜日）午前十一時から

一、法話

一、齋座

・新盆の法要を行います。

・ご家族そろってお参りください。

・駐車場はありません。南北線をご利用ください。

龍源寺への交通の便（地下鉄）

- 都営三田線（目黒または三田、南北線は白金高輪駅下車。徒歩五分）
2番出口から地上に出ると案内看板に「龍源寺」名あり

龍源寺への交通の便（都バス）

- 田 87 渋谷駅—田町駅 魚ラン坂下下車
- 都 06 渋谷駅—新橋駅 古川橋下車
- 品 97 品川駅—新宿駅西口 魚ラン坂下・古川橋下車
- 反 96 五反田駅—品川駅—六本木ヒルズ（循環）
魚ラン坂下・古川橋下車
- 東 98 東京駅丸の内南口—目黒駅 魚ラン坂下下車

龍源寺の定例会

禪の会（坐禅体験）

指導…松原信樹

定例日…毎月第一土曜日

（一月は別途）

時間…午前十時～十二時、

午後一時三十分～三時

三十分

内容…坐禅とお話

会費…来会の時二百円

参加者の方は、サラリーマンの方・

女性の方・学生・会社の社長さん

様々です。大体五十人位。

仏像を彫る会

指導…三木童心

定例日…毎月第二土曜日

第四土曜日

時間…午前十時三十分から

十二時三十分（初心者）

午後一時三十分から四時

会場…龍源寺花園会館

会費…二千元

写経会

日 時…毎月第三土曜日十四時

～十六時

（八・十二月は除く）

受付…十三時五十分より花園

会館

写経会…十四時より『般若心経』

の読経・法話があり、写経会が

始まります

会費…二千元

携行品…小筆など書道用具一式

参加資格…どなたでもご参加い

ただけます

*墨汁は使いません。墨を硯です

ります。早く書写し終わりました

ら、時間まで静かにお待ちください。

間に合わなかった方については、

講師の先生に相談してください。

講師…飯沼定子先生

著作 心が楽になる「観音経」—

ペンで書く写経 松原哲明【著】

飯沼定子【書指導】／佼成出版社

（二〇〇七年五月発売）



お盆を迎えます。建築家の山本哲也先生のご尽力により、六月よりエレベーター増設工事、本堂改良工事が始まりました。お庭の整備

は間に合いませんが、九月のお彼岸までには、完成の予定にしております。

私自身、あまり物を持ちません。質素に生活をしている中で、このような大きな工事ができたご縁に大変ありがたいと思っております。ご寄付をいただいた皆さま、工事に関して多大なご尽力をいただいた皆さまに深く感謝申し上げます。▼工事期間は、足場の設置や工事関係の車が多いため、境内に車を置く事ができません。ご協力宜しくお願い申し上げます。▼龍源寺は平成三十七年に三百五十年を迎えます。その事業の一環として、エレベーター増設工事、東北寺合同船、納骨堂の建設、借地の整備をし、将来本堂を建て直す際、経蔵を建立し、寺院らしい景観を保たせていきたいと思えます。皆さまのご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。▼新

盆を迎えるお檀家さまは、七月十日午前十一時からの盂蘭盆会にご参列ください。二十名近い僧侶を迎えて読経させていただきます。また、旧来からご自宅にうかがわせていただいているお檀家さまには、ハガキで棚経の日持をお知らせさせていただいております。宜しくお願い申し上げます。工事の関係で、この度のちらし寿司のきざみ作業は中止させていただきました。また、定例の坐禅会、写経会、仏像を彫る会は、休まず行わせていただきます。▼十九世紀のフランスの社会学者タルドは、「人間社会はある意味で、基礎的な部分に於いて模倣によって成立する」と言われました。例えば、二歳になる自分の娘をみてみると、周囲の大人の言葉や、表現立ち振る舞いをみて、真似してしますし、私自身も、時々、漢文を訳しますが、よく考えてみるとその訳のほとんどが、辞書からの引用にすぎないことに気づかされます。娘の瑞樹は六月で二歳になります。言葉を覚え始めて多くのことに関心を示します。近く

の公園で遊ぶのが日課となっております。妻の亜矢は育児とお寺の仕事に一生懸命です。来年仕事に復帰をすること。仕事、家庭、育児にがんばってもらいたいです。母は、茶道の先生と実母の面倒をみています。百二歳と二歳のいる賑やかなお寺になりました。▼病院からの流れで決まってしまうケースが多いようです。お檀家さまで、お葬式をだされる場合、信頼のある葬儀社を紹介させていただきます。病院で臨終の際、まず、一番はじめに龍源寺か深夜でしたら「あおば葬祭」〇三―五七二二―七六五一（東京都目黒区下目黒五―七―一）にお電話を入れていただきたいと思います。丁寧なお仕事で、皆さまに大変喜ばれています。葬儀、家族葬、密葬など気軽にご相談下さい。生前のご相談も受け付けています。▼七月十日午前十一時、盂蘭盆会でお会いできることを家族一同楽しみにしております。ご家族でお参りください。（信樹）